

事務事業名	公園維持補修事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	建設部		単位番号	7079						
			所属課室	都市計画課		課長名	新津 元博						
			所属担当	公園管理担当		担当者名	保坂 佳一						
基本政策	基本計画体系 Ⅲ 13 21	うるおいと利便性のある都市づくり 都市空間の整備 安らぎ空間の整備	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
			01	一般	0	8	0	4	0	4	0	0	8
政策			事業区分		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金								
施策	法令根拠	都市公園法、都市公園条例、農村公園条例											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 15 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳（ 22年度 ）									
	1事業の内容			項目(細節)									
	市内161箇所の指定管理以外の公園の維持補修を行う。			金額(千円)									
	2事業費の内訳			項目(細節)									
	公園施設の維持補修費(トイレ、遊具、樹木等)			金額(千円)									
	都市公園 7箇所 農村公園 19箇所 その他公園 135箇所 面積148ha			金額(千円)									
			計										
			10,719										

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	施設、遊具、樹木等の維持補修
23年度活動予定	施設、遊具、樹木等の維持補修
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
該当となる公園・施設	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
市民が安全に安心して利用できるようにする。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
市民が安全に安心して安らぐことができるようにする。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア施設・遊具の維持補修数	基
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア老朽施設・遊具の数	基
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア施設・遊具の整備率	%
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア公園や子供の遊び場に関する住民の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	3,518	10,719	28,171	1,000	4,000	4,000	
		事業費計 (A)	千円	3,518	10,719	28,171	1,000	4,000	4,000	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	777	777	777	777	777	777		
		人件費計 (B)	千円	3,466	3,466	3,078	3,078	3,078	3,078	0	
		(A)+(B)	千円	6,984	14,185	31,249	4,078	7,078	7,078	0	
活動指標		アイ	基	25.0							
		ウ									
対象指標		アイ	基								
		ウ									
成果指標		アイ	%								
		ウ									
上位成果指標		アイ	%	34.0							
		ウ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成15年度より、市内162箇所の指定管理以外の公園の維持補修を行う事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	施設・遊具の老朽化による修繕が増加している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	施設・遊具の改修・修繕の要望が多い。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過（取り組みしていない場合はその理由）	施設の維持補修事業であり特段改革改善はない。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	公園維持補修事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 安らぎ空間としての公園の推進が目的であり整合している。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市の公園であり公共関与は妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 安らぎ空間としての公園の維持補修であり維持・継続は妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 公園施設の維持補修(トイレ、遊具、樹木等)の経費であり向上余地はないものと考えられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 休止・廃止した場合、公園利用者に大きな影響が生じる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 安らぎ空間の公園施設の維持修繕経費であり休止・廃止できない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 公園施設の維持補修(トイレ、遊具、樹木等)の経費であり削減余地はないものと考えられる。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 担当者1名で他事業と合わせて行っており、削減する余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 安らぎの空間である、公園施設の維持補修(トイレ、遊具、樹木等)の経費であり公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	公園として指定されている以上、トイレ、遊具等の修繕は実施していなくてはならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) (2) 改革改善案について ①トイレ、ベンチ等が古くなったり、いたずらで壊されたりして修繕を行っているが毎年、修繕ヶ所は増加する傾向にある。 ② ③		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①約1500の遊具、ベンチ等有る中で約900の物が撤去、修繕を有することから ②撤去する遊具の地元市民の理解、財政確保 ③新規に設置要望があるので財政の確保		(5) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑫																						